

《第64回》平成三十年七月の作品

〈七月十三日（金） 於・小諸高濱虚子記念館〉

校倉に古書を守りて夏木立  
（芙紗）

凌霄の盛りや虚子の散歩道  
（一江）

信濃路のここは虚子庵日の盛り  
（前歩）

涼を取る八幡神社の大櫓  
（貴美）

けふ晴れて浅間の峯や青胡桃  
（正雄）

虚子の道訪ね巡れる溽暑かな  
（平六）

母守るやふに日傘を持つ男子  
（奉男）

高峰山たかみねに夏霧なつぎりかかり古墳こふみかな  
（孝昭）